

中五

一 夕夕夕氣かゝるもの母を焼て白ぬおろ

せうのあゝを焼て又焚茶

けんくす凡のきんも焚ておろ

餅包銅釜

中六

一 羽虫熱のいほむあな子のきんを

千にかりにともおろす熱くもろて母虫のよが